

### 2006 年新年号

〔発行〕日本エルガード協会広報委員会  
 (事務局)東京都千代田区六番町6-28  
 住友大阪セメント(株)建材事業部内  
 TEL03(5211)4756 FAX03(3221)5183  
 office@elgard.com

#### 年頭挨拶

会長 茂田 隆重

皆さん、明けましておめでとうございます。

2005年は、国内外とも「想定外」の出来事に振り回された1年であったように思います。米国では、超大型ハリケーン「カトリーナ」が、オハイオ州に甚大な被害をもたらしました。日本では、4月の尼崎に続き、12月に庄内で、同一年に2回のJR脱線転覆という、本来ならあり得ない事故が現実起きてしまいました。被害を大きくした要因には「効率優先による予防保全コストの削減」や、「安全基準のプレ」といった人災と思われる項目が、挙げられています。また、11月に発覚したマンション耐震建築偽装事件では、検査機関である行政、民間検査機関の「品質管理体制の甘さ」が、社会問題化しています。バブル崩壊以後、経済回復に向かいつつある今日までの間に、日本は大切なものを失っているのではないのでしょうか。最近の出来事に共通する課題は、「安全・安心コストの削減」であり、「信用・信頼性の低下」に尽きます。



しかしながら、日本が今後も発展する為には、これらの事件・事故を教訓とし、「信用・信頼性の回復」の為に「安全・安心コストの確保」が確実に為されなければなりません。

日本エルガード協会は、技術説明会や講習会および認定試験を通じ、発注者への情報提供や会員の技術向上に努めて参りましたが、今後も引き続き、顧客の安心と信頼を得る為に、顧客が納得するに足る情報提供と、会員の技術レベルおよび施工品質のより一層の向上に注力してください。

最後に、会員諸氏におかれましては、健康に留意しつつ、積極的に活動されかつ安全に施工されますことを祈念いたします。

#### 平成17年度第4回理事会の報告

平成17年度第4回理事会が開催され、委員会活動状況が報告されました。審議事項はありませんでした。

#### 開催日時など

開催日時:平成17年12月6日(火)16時~17時  
 開催場所:住友大阪セメント株式会社 204会議室  
 出席者:茂田会長、今村副会長、平山理事、小倉理事、白石理事、佐藤理事、内藤技術委員長、事務局

#### 報告事項

下記報告事項は了承されました。  
 平成17年度第3回理事会議事録(案)の承認(書面理

事会で承認済)

委員会活動報告

第6期定時総会に関する事項

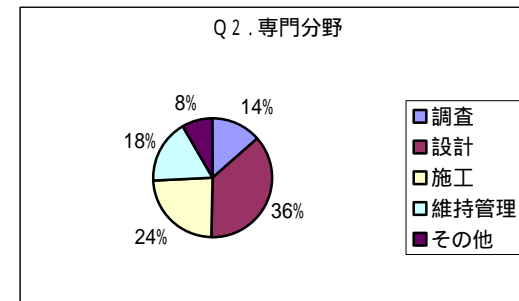
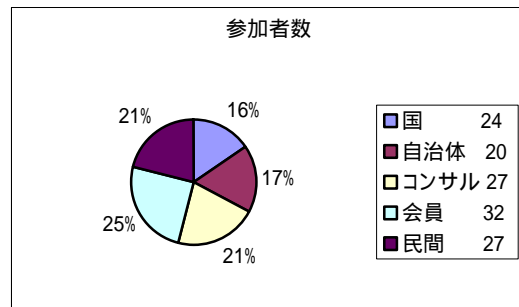
事務局報告

#### 技術説明会の報告

実施日 平成17年11月2日  
 開催場所 福岡サンパレス(福岡県福岡市)  
 参加者 135名(内、発注先関係者74名)

出席者多数で盛況でした。専門分野も調査・設計で過半数を占め、維持管理分野が

増えました。会場アンケートでは、設計・施工事例や積算、LCCに関する掘り下げニーズが75%以上でした。次年度の企画に是非、反映させていきたいものと考えています。(事務局)



#### 現場見学会(施工委員会主催)の実施報告

開催日時 平成18年2月1日  
 場所 江戸川放水路・水管橋電気防食工事  
 参加者 20名

見学可能な日程が定まらず、開催が危ぶまれましたが、工事を施工した化工建設(株)様のご尽力により、実施する事ができました。

当日は荒天にもかかわらず、多数のご参加有難うございました。



#### 委員会活動状況の報告

技術委員会 技術委員長 内藤 英晴

技術委員会では、エルガード工法の更なる技術の確立を目指した技術開発と技術者育成を主体に取り組んでいます。今年度は、昨年度に引き続き、土木研究所のご指導のもと電気防食工事において使用する補修材料の評価手法の確立に取り組んでいます。また、材料学会への委託研究として、アルカリ骨材反応を起こした、あるいは起こす恐れのあるコンクリート構造物への電気防食工法の適用上のガイドライン作

りを行っています。さらに、今年度からは、チタンリボンメッシュ陽極の配置方法を設計的に評価できるよう、WGを新たに立ち上げて検討しているところです。いくら良い技術であっても、信頼性を確保するためには、優秀な技術者により施工することが必要です。これからの維持管理の時代に移行する中、エルガード工法の果たす役割はますます大きくなりますが、信頼性の高い品質も要求されます。そのために当協会ではコンクリート電気防食技術者認定制度を発足させました。すでに100名を超える方々が、コンクリート電気防食管理技術者として登録されています。今後もエルガード工法の高い信頼性を確保するためにも、技術に裏打ちされた技術者を育成する必要があります。この認定制度に基づく技術者育成についても、技術委員会が主体となって取り組んでいきます。

施工委員会 施工委員長 佐藤 正明

#### 活動状況

施工委員会は委員会を1回開催し、現場見学会を実施しました。

#### 活動報告

- 施工チェックリスト(案)
  - a.チタンリボンメッシュ陽極方式
  - b.チタンメッシュ陽極方式
- 電気防食システム適用後の維持管理の手引き(案)

はWGで作成し、委員会で査読を重ね完成しました。今後HPで公表しますので、会員各社で試用してください。現場見学会

2月1日に実施しました。

広報委員会 広報委員長 白石 弘

#### 活動状況

広報委員会は委員会を1回、積算・歩掛WGを2回、LCC-WGを5回開催しました。

#### 活動報告

発注者向け技術説明会を2回実施しました。  
 7月12日(火)札幌会場:JCIとの共同説明会  
 11月2日(水)福岡会場:記念講演(港湾空港技術研究所、濱田室長)  
 積算・歩掛-WGは、棧橋の積算・LCCの検討を同時に開始し、各課題を積算グループとLCCグループが行っています。メンバーは以下の通りです。  
 積算WGリーダー:佐野(東洋建設)  
 同サブリーダー:野上(若築建設)  
 積算グループ主査:羽淵(東亜建設工業)  
 同副主査:峰松副主査(住友大阪セメント)  
 小笠原(五洋建設)、小袋(日本防蝕工業)、笹川(ナカポーテック)、長沢(ショーボンド建設)、野村(佐伯建設工業)  
 LCCグループ主査:壹岐主査(若築建設)  
 同副主査:中川(東洋建設)  
 貝原(ピーエス三菱)、香川(住友エコエンジ)、中村(オリエンタル建設)  
 LCC-WGは、LCCの算出期間を100年とし、10

のパターンについてLCC比較の試算を行っています。メンバーは以下の通りです。  
 LCC-WGリーダー:上條(ショーボンド建設)  
 同サブリーダー:竹谷(住友エコエンジ)  
 中村(オリエンタル建設)、中川(東洋建設)、壹岐(若築建設)、笹川(ナカポーテック)、貝原(ピーエス三菱)、久(化工建設)、峰松(住友大阪セメント)

#### 会員トピックス

五洋建設株式会社 小倉 隆夫

05年度から理事を拝命しました五洋建設の小倉です。



大学をでて建設業界に身を投じて早くも30年の歳月が過ぎてしまいました。30年の歳月を振り返ってみるとここ数年の環境の変化には驚きを隠せません。

この間の施工技術の向上には目を見張るものがある反面、技術者の倫理観が同時に向上しているかどうか疑問を感じざるを得ない場面が多くなっています。技術者としての使命を再認識して我々の業界に対する信頼の回復が急務と考えています。

20代に現場を駆け回っていた頃に施工した構造物も30歳になっています。特に海上構造物を施工していましたが、現在では補修の対象になっているものも少なくありません。当たり前ですが、海上構造物でのコンクリートの防食技術の重要性を再認識しているところです。

国民に信頼されるものづくりの原点に立ちかえって、言い古された言葉ですがいいものをより安く提供することを心がけていきたいと思っています。

エルガード協会の会員皆様のご協力のご指導を受けながら今後ともエルガード工法の普及に努力する所存ですのでよろしくお願いたします。このように、広報面、技術面でエルガード協会に期待する部分は大きく、私自身も会員として旧年にもまして、皆様と一緒に汗を流して行きたいと思っております。よろしくお願いたします。

#### 今後の協会行事日程

年	月	日	行事
18	2	24	第5回理事会
18	3	10	第7回積算WG
18	3	16	第35回広報委員会
18	4	27	第6期定時総会

(事務局より)

平成17年度はWG(ワーキング・グループ)活動に重点を置き、積算・LCCに関する検討を、鋭意進めております。乞う、ご期待。

●エルガード通信に関する会員皆様のご意見をお寄せ下さい。